

たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

http://www.tamakyo.com/

発行責任者 青木弘人

[病院理念] 玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います

ハンセン病の歴史から医療倫理を考える

1月15日(水)、瀬戸内市にある長島愛生園の歴史館から講師をお招きし、ハンセン病についての講演を行っていただきました。

ハンセン病(らい病)とは?

ハンセン病は「らい菌」によって起こる慢性の細菌感染症で「らい病」と呼ばれており、その感染力は非常に弱く、たとえ感染してもハンセン病を発病することはほぼないのですが、当時は「神様からの罰である」「強い感染力をもつ」などの誤った知識が拡散され、1931年「らい予防法」の制定により元患者さんは強制隔離を強いられ、患者だけでなくその家族も重大な人権侵害を受け続けました。各県で「無らい県運動」の名の元、患者を見つけ出し強制的に療養所に送り込む施策が行われたため、人々の心に「ハンセン病は恐ろしい病気だ」というイメージが植え付けられ、その差別と偏見は有効な薬が発見され治療できる病気だといわれた後も続きました。

今なお残る社会問題

1996年に「らい予防法」は廃止をされ、悪いイメージをすべて解消するという意味で「らい病」から「ハンセン病」と呼ぶように改められましたが、差別や偏見は根強く残りました。2024年11月時点で納骨堂には故郷に帰れない遺骨が3753柱残され、後遺症を伴う高齢化や社会復帰、家族との断絶など、多くの問題が今なお残っています。

私たちに出来ること

講演会に参加した職員からは、「正しい理解を持ち人権感覚に基づき行動することの重要性を学んだ」「ハンセン病患者さんにかわいそうな人ではなく、強く生きてきた人だ」という言葉が印象的だった。「長島愛生園へ見学に

行きたいと思った」などの感想が寄せられました。改めて、ハンセン病の歴史を一人一人が正しく理解し正しい知識を普及させること、ハンセン病に限らず様々な差別に苦しむ人々に関心をもち、自分たちの問題として考えることの大切さを学ぶ機会となった講演会でした。

(地域連携室 柳瀬 佳奈)



講演会の様子

地域連携室 防災訓練とVR体験

1月21日(火)、地域連携室でこくみん共済coop岡山推進本部から防災士の方にお越しいただき、防災の学習会と訓練を行いました。災害発生時、岡山で想定される被害の大きさやハザードマップ等を再確認し、避難の在り方や災害関連死についても学習しました。また学習の一環としてVR体験(コンピュータによって育成された仮想空間をまるで現実かのように見ることが出来る体験)もさせて頂き、氾濫した川の水が押し寄せたり、火災で迫りくる炎など、災害の恐ろしさを体感しました。



VR体験の様子

学習後には、「平日14時に震度5強の地震発生」を想定とした初動アクション訓練を行いました。地域連携室では初動アクション訓練カードを作成しています。このカード

(医療福祉相談室 西村 みゆき)

通所リハビリテーション 始まりました、歯科検診!

通所リハビリでは、2024年9月より玉島歯科診療所の歯科医、歯科衛生士、技工士、事務の方に来ていただき、利用者の方を対象とした口腔検診をスタートしました。食べ物の残りが口に残っていると虫歯や歯周病、肺炎などの病気を引き起こす原因となります。

口のケアがとても大切であることはよく言われていますよね。そのため、隔月の第2水曜日に義歯の不具合がないか、口腔ケアができていないかなどを診てくれる機会をもうけました。またおやつの中には、噛み合わせや、むせがないかなどもチェックしてくれます。口腔ケアに手助けが必要な方には私たちが衛生士さんから指導していただき、実際食後のケア時にお手伝いさせていただきます。

利用者の中には90歳で全部自分の歯である方や、102歳できれいな口腔内の方など、私たちが「すごい!」と思うような方もいらっしゃいました。

引き続き、口腔ケアの充実を図りながら利用者の方が健康に過ごせるように一緒に頑張りたいと思います。

(通所リハビリテーション 鳥羽 ゆかり)



歯科検診の様子



Follow Us! / 玉島協同病院 公式Instagram

@tamashima_kyoudou



講師:こくみん共済coop岡山推進本部 大東 光 防災士(写真左)

労働組合青年部 韓国青年部学習交流ツアー

労働組合青年部の交流企画として、2月17日～2月20日、民医連と交流がある韓国ソウル市の「グリーン病院」を訪問しました。当院からは、3名の職員が参加しましたので、感想をご紹介します！

病院の見学と成り立ちや韓国の医療事情を学習しました。グリーン病院は労働災害が元で建てられた病院で、もとはカッラを作る工場だったとのこと。韓国の労働災害と戦ってきた歴史がある病院です。韓国は2000床を超える病院が複数あるなど世界的に有名な病院があり華やかなイメージがありました。が、社会保障などの面では日本より劣っているところもあり格差が激しいことを知りびっくりしました。

(リハビリ係 藤原 章伍) グリーン病院は日本の民医連と姉妹提携をしており、民医連同様に地域の人々や労働者の医療を通じて人権を守る取り組みがされています。交流のなかで、イム院長から韓国は格差社会が激しく、労働して



グリーン病院前にて



イム院長によるオリエンテーション

いるのに労働者扱いされず少ない賃金で生活している人々が沢山いるという現状について教えていただく機会がありました。そんな方々でも困ること無く医療を受けられるように、医療費についての相談窓口設置や差額ベッド代の廃止など様々な取り組みがされていることを知ることが出来ました。

(外来看護師 柏木 衣織) 韓国では日本ほど保険制度が充実しておらず保険対象外の治療が沢山あり患者負担が多いと言われていました。その中でグリーン病院が「働く人のための病院」であること、「社会的弱者、マイノリティの健康を守る病院」であることを学びました。

地下2階にあり、最上階の7階にはリハビリセンターがあります。床から天井までガラス張りです。患者さんは景色を眺めながらリハビリ治療を行っていました。院長室が地下2階にある理由には「一番低いところから弱者と連帯しながらも高い質の医療を提供する。」といった意味があり、韓国では営利優先の医療機関が多い中、地域と患者に寄り添った、まさに民医連の病院であると感じさせられました。今回参加したことで、韓国の医療や歴史だけでなく、日本と韓国の医療従事者の働き方の違いや普段知ることや感じることでできないことを学ぶ貴重な機会となりました。

(事務課 岡邊 絵梨花)

第4回看護・介護連携の会開催 患者、利用者のアドバンス・ケア・プランニング

2月10日、「患者、利用者のアドバンス・ケア・プランニング (ACP / 人生会議)」をテーマに看護・介護連携の会を開催しました。



挨拶をする畑野医師

今回のテーマである「ACP」とは、万が一の場合に備えて将来の医療及びケアについて、本人を主体に家族や近い人、医療・ケアチームなどが繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みのことです。今回は、連携の会として“意思決定の支援について、現状や悩みなどをグループでざっくばらんに話せる場”を企画しました。

参加者は玉島・船越地域の在宅関係者の方々が28名、病院からは運営スタッフ7名に加え各職場から11名で、看護師や介護士、理学療法士、ケアマネージャー、生活相談員など様々な職種の方に参加して頂きました。

冒頭で畑野医師が挨拶をし、さっそくグループに分かれ意見交換を行いました。途中で一度席替えタイムがあり、最後に各グループで出た意見をグループ代表者が報告し共有しました。

参加した皆さんからは、「楽しかった」「とても良かった」「次を楽しみにしている」と嬉しいお声を頂き、今回の“ざっくばらんに話せる場”は大盛況・大好評に終わりました。

人生最期の過ごし方や治療方法等を話すことは、なかなか元気な状態では話し辛く、意思決定が出来なくなってからでは遅い場合も多いため、こうした連携の会をきっかけに、本人や周りの人々で話せる雰囲気作りに貢献出来れば良いなと思いました。



連携会の様子

(地域連携室 守分 香)

玉島協同病院は今後も部屋代はいただきます 玉島協同病院はカルテを開示しています

加集万里子のお料理教室 シーズ195



えのきたっぷりチーズ焼き



きのこが苦手な家族も気がつかないで食べています。えのき茸は食物せんいたっぷり、きのこの中でも一番栄養があります。ビタミンB1の含有量が多く疲労回復効果があります。小さく切って混ぜ込むので気がつかないで食べられます。

材料 (2人前)

- ♥キャベツ……………4分の1
- ♥えのき茸……………大1袋
- ♥卵……………2個
- ♥豆腐……………小1個
- ♥ピザ用チーズ……………100g位
- ♥鶏ガラスープの素か出しの素……………大さじ1
- ♥片栗粉……………大さじ3
- ♥水(様子を見ながら)……………大さじ3~4
- ♥塩少々……………少々
- ♥焼く時の油……………大さじ2
- ♥お好みソース……………適量
- ♥マヨネーズ……………適量

作り方

- ①キャベツ、えのき茸は5ミリのみじん切りにして大きめのボールに入れておく。
- ②卵から塩までの調味料を加えてよく混ぜる。
- ③温めたフライパンに大さじ1の油を加え、混ぜた材料の半量を入れたら平らにして焼いていく。2分位したらひっくり返し、蓋をして3分焼く。
- ④切ってみて煮えていたら皿に取り、お好みソースやマヨネーズをつけて食べる。(残りの半量の材料も同じ手順で焼くことで2枚出来上がります)

辛子や粉唐辛子をかけると大人向きになります。

玉島協同病院は無料低額診療事業を行っています。お気軽にご相談下さい。